

新しい伝統表現の街：
赤レンガ造りの歴史を踏まえ 船からも街の活気が見える



2018年8月（ドイツ・ハンブルク州・エルベ川）

◆生まれ変わるエルベ河畔

ハンザ同盟の都市として栄えたエルベ川に面した港湾地域。元々は造船所や流通倉庫で占められていましたが、近年ヨーロッパ最大の市街地再開発により、新しい観光スポットが生まれています。

◆エルプフィルハーモニー・ハンブルク

伝統的な赤レンガ造りの港湾倉庫の上に全面ガラス張りの建築物を載せる形により、帆のイメージをしたガラス部分にはコンサートホールやホテルが収まっています。高さ37mの展望回廊からは、この遊覧船の様子も見えているのではないのでしょうか。

岡村幸二（JRRN会員）